

3. 注意事項

3-1. 受験できない場合

次の場合は受験できません。また、**受験できない場合でも受験手数料は返還いたしません。**

- (1) 試験開始から30分以上遅刻してきた場合。
※交通機関の事故など、理由のいかんを問いません。
- (2) 指定する写真付き公的証明書(原本:日本国内で発行されたものに限定する)の提示ができない場合、また、提示ができて本人確認ができない場合。
- (3) 「受験票①」と「受験票②兼写真票」を不所持の場合。
※いずれか1つが欠けても受験できません。
- (4) 受験票で指定された会場以外で受験しようとする場合。
※事前に協会が承諾した場合を除きます。
- (5) 他の受験者の妨げになる等、協会が受験に不相当であると判断した場合。

3-2. 試験会場におけるご注意

試験会場では次の点にご注意ください。

- (1) 貴重品は必ず身につけておいてください。
※協会は盗難・紛失等についての責任を一切負えません。
- (2) **試験会場には必ず公共の交通機関を利用してご来場ください。**
※試験会場に駐車場の用意はありません。
- (3) 試験会場への直接、または電話での問合せおよび下見は固くお断りしております。
- (4) 試験会場周辺で、試験結果を通知すると言って受験者を勧誘し金銭を取る業者や、関係団体を装って講習会等の勧誘を行う業者がいますが、協会とは一切関係がありません。

3-3. 試験室におけるご注意

試験室では次の点にご注意ください。

- (1) 12時40分から事前説明を開始します。手洗いはそれまでに済ませてください。また離席の際は、受験票と指定する写真付き公的証明書(原本)を必ずお持ちください。
- (2) 受験票に記載されている受験番号と座席の番号をご確認のうえ、着席してください。
- (3) **試験室では試験監督員等の指示に従ってください。**指示に従わないとき、または不正行為等の不都合な行為があると認めたときは退出させ、失格となることがあります。
※試験監督員から試験終了の合図があった後に「解答欄」への記入等を行うことは不正行為となり、失格となります。
- (4) **スマートフォン・腕時計型携帯電話等、通信機能付の携帯情報端末は、アラームの設定を解除し、必ず電源を切ってカバンの中にしまってください。時計として使用することもできません。(試験室によっては時計が設置されていません。試験時間の管理は受験者自身で行ってください。)**
- (5) 試験時間中に緊急地震速報、津波警報などの全国瞬時警報システム(Jアラート)が発信された場合は、受験者の皆様に館内放送または試験監督員からお知らせしますので、試験監督員の指示に従って行動してください。
- (6) 試験問題の内容に関する質問には一切お答えできません。
- (7) **試験時間中、途中退出はできません。発病等の場合は、黙って手を挙げ、試験監督員の指示に従ってください。**
- (8) 解答用紙は、いかなる場合もすべて提出してください。
- (9) 試験の開始および終了は試験監督員の時計を基準とします。
- (10) 試験室内は禁煙です。指定された場所以外では喫煙できません。会場によっては全面禁煙のところがありますので予めご了承ください。